

明治廿二年七月日

書記官長

書記官

清水次

樞密院雇の命ス

清水次

但月給十五圓

右者本院ニ採用シ頭書通令セラルヘキ哉

福多和士様

清水

次

二十五年

和仁法得等様

明治廿三年七月廿五日

書記官長 書記官

大原光

壁谷可六外九名任命轉任増俸等件大蔵省
會計主務官及内閣會計局(左)通達相成
可成

記

樞密院属(判任官等)大原光

任貴族院属

樞密院属(判任官等) 尾崎朝景

任貴族院属

樞密院属(月俸十三圓) 奥津健夫

貴族院属ノ命ス

(樞密院給仕) 伊藤 榮

樞密院属ノ命ス月俸七圓ヲ給ス

(樞密院給仕) 小林 栄吉

樞密院属ノ命ス月俸七圓ヲ給ス

以上廿三年七月廿二日分

元老院書記(判任官等) 壁谷可六

任樞密院属(判任官等) 下级俸

樞密院属(月俸貳拾四圓) 八木大一郎

自今月俸貳拾五圓ヲ給ス

樞密院属(月俸八圓) 石原 鋳花

自今月俸拾五圓ヲ給ス

以上廿三年七月廿四日分

(福岡縣士族) 清水 次

樞密院属ノ命ス月俸拾五圓ヲ給ス

以上廿三年七月廿六日

右前記之通了轉任并採用増俸ありて
け及乃之通了なり也

明治廿三年七月 書記官長

大臣者會計之務官也

樞密院

由是會計之務

(通)

明治廿三年八月二日

書記官

書記官長

山本吉英

樞密院雇之命

山本吉英

但月俸貳拾圓に與ふ

八月四日達す

右之者採用し頭書通命あり